

## 1 神様は干ばつを起こすことができる方【3年間】

I列王記 17:1 ギルアデのティシュベの人のティシュベ人エリヤはアハブに言った。「私の仕えているイスラエルの神、主は生きておられる。私のことばによらなければ、ここ二、三年の間は露も雨も降らないであろう。」

## 2 神様は、干ばつを止め、雨を降らせることができる方

I列王記 18:1 それから、かなりたって、三年目に、次のような主のことばがエリヤにあった。「アハブに会いに行け。わたしはこの地に雨を降らせよう。」

- アハブ王様：イスラエルで最悪の王様となった  
外国から、偶像礼拝をする妻、イゼベルを迎えた  
妻に従い、妻の国のバアルとアシュラの神様の偶像を造り、イスラエルでさかんにさせた  
妻のイザベルは神の預言者を殺した  
3年間の干ばつは、エリヤのせいにしていた【I列王記18:17】
- バアルの神  
雨を降らして肥沃の土地を作ると信じられていた偶像の神
- イスラエルの民が礼拝していた神々

I列王記 18:17 アハブがエリヤを見るや、アハブは彼に言った。「これはおまえか。イスラエルを煩わすもの。」18 エリヤは言った。「私はイスラエルを煩わしません。あなたとあなたの父の家こそそうです。現にあなたがたは主の命令を捨て、あなたはバアルのあとについています。」19 さあ、今、人をやって、カルメル山の私のところに、全イスラエルと、イゼベルの食卓につく四百五十人のバアルの預言者と、四百人のアシュラの預言者とを集めなさい。」

## 3 どちらが主であり神であるか？

18:21 エリヤはみなの前に進み出て言った。「あなたがたは、いつまでどっちつかずによろめいているのか。もし、主が神であれば、それに従い、もし、バアルが神であれば、それに従え。」しかし、民は一言も彼に答えなかった。

- エリヤの偶像の神々に対するチャレンジ

18:22 そこで、エリヤは民に向かって言った。「私ひとりが主の預言者として残っている。しかし、バアルの預言者は四百五十人だ。23 彼らは、私たちのために、二頭の雄牛を用意せよ。彼らは自分たちで一頭の雄牛を選び、それを切り裂き、たきぎの上に載せよ。彼らは火をつけてはならない。私は、もう一頭の雄牛を同じようにして、たきぎの上に載せ、火をつけないでおく。24 あなたがたは自分たちの神の名を呼べ。私は主の名を呼ぼう。そのとき、火をもって答える神、その方が神である。」民はみな答えて、「それがよい。」と言った。

1. バアルの預言者450人対神の預言者エリヤ
2. バアルの祭壇を築く 対 神の祭壇を築く
3. バアルを呼び求める 対 神様に呼び求める

18:26 そこで、彼らは与えられた雄牛を取ってそれを整え、朝から真昼までバアルの名を呼んで言った。「バアルよ。私たちに答えてください。」しかし、何の声もなく、答える者もなかった。そこで彼らは、自分たちの造った祭壇のあたりを、踊り回った。:27 真昼になると、エリヤは彼らをあざけて言った。「もっと大きな声で呼んでみよ。彼は神なのだから。きっと何かに没頭しているか、席をはずしているか、旅に出ているのだろう。もしかすると、寝ているのかもしれないから、起こしたらよかるう。」28 彼らはますます大きな声で呼ばわり、彼らのならわしに従って、剣や槍で血を流すまで自分たちの身を傷つけた。29 このようにして、昼も過ぎ、ささげ物をささげる時まで騒ぎ立てたが、何の声もなく、答える者もなく、注意

1. バアルの預言者たちは朝から午後まで祈り叫び、自分たちを傷つけて叫んだけれども何も起こらなかった

**18:36** ささげ物をささげるころになると、預言者エリヤは進み出て言った。「アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ。あなたがイスラエルにおいて神であり、私があなたのしもべであり、あなたのみことばによって私がこれらのすべての事を行なったということが、きょう、明らかにありますように。**37** 私に答えてください。主よ。私に答えてください。この民が、**あなたこそ、主よ、神であり、**あなたが彼らの心を翻してくださることを知るようになさってください。」**38** すると、**主の火が降って来て、全焼のいけにえと、たきぎと、石と、ちりとを焼き尽くし、みぞの水**

2. エリヤは、全能の神様に祈った時に、神様は火をもって答えて、祭壇を焼き尽くされました

#### 4 主こそ神

**18:39** 民はみな、これを見て、ひれ伏し、「主こそ神です。主こそ神です。」と言った。:40 そこでエリヤは彼らに命じた。「バアルの預言者たちを捕えよ。ひとりものがすな。」彼らがバアルの預言者たちを捕えると、エリヤは彼らをキション川に連れて下り、**そこで彼らを殺した。**

1. イスラエルの神、主が神であることを体験した

全能の神様は、火をもって答えられた。そしてイスラエルに大雨を降らせた【18:45】

2. 偶像と偶像礼拝を取り除く

エリヤはバアルの預言者たちをイスラエルから取り除きました。

➤ どうして、神様はイスラエルに干ばつを起こされたのでしょうか？

1. バアル礼拝【雨を降らせ肥沃な土地を作ると信じられていた偶像】にチャレンジをするため
2. 人々が偶像には力が無いことを知り、イスラエルの神、主こそ神であることを知り礼拝するため。

#### 5. 神様の御心

アハブ王様の時代のイスラエルの民はバアルやアシュラ像を礼拝しながら、イスラエルの神様も礼拝していました。都合がいい、どっちつかずな信仰をしていたのです。神様は、イスラエルを愛し、奴隷のエジプトから救い導き、約束の地に導いて、祝福したいと願っておられました。しかしイスラエルの民はこの神様を捨てて偶像に走ってしまったのです。偶像は人間が造りだしたもので、たとえ礼拝したとしても人間を救い出すことはできません。イスラエルの民が自分の身を傷つけてまで礼拝したけれども何の答えもなかったように。

神様はご自分の力を現わし、イスラエルの民に戻ってきてほしかったのです。イスラエルを祝福するために。

➤ 神様の御心を知りましょう

1. アハブは3年間の干ばつを、預言者エリヤのせいにしてしまいました。神様のせいにしていたのです。イスラエルの民は、神様に求めないで、バアルの神に呼び求めました。
  2. 神様は、しるしと不思議をもってご自分の力を世にあらわされます。【干ばつや、エジプトに10の災い】
  3. 神様は、人々が滅びることを目的とされていません。悔い改めて神様の元に帰ってくるのが御心
    - ➔ 全世界は神様が造られ、神様のカレンダーの内に動いていることを知りましょう。
    - ➔ コロナの蔓延する中、神様は全世界の人がどのようなことを求めておられるのでしょうか。
    - ➔ 今主が行っている御業に私たちはどのように応答するべきでしょうか。
- 主こそ神です
1. イスラエルの民は、偶像と神様に仕えて、どっちつかずによろめいた信仰でした。ちょうど礼拝には来るけれども、他の偶像【お金、仕事や学校、人間関係、趣味など】が優先するときもあるような信仰状態でした。
  2. 偶像に一生懸命に仕えて、祈り、自分の身を傷つけてけれども、何の返答もありませんでした。ちょうど神様を知っているけれども、神様に祈らないで、偶像により頼んで、自分の力で何とかしようとしている状態でした。イスラエルの神に祈った、エリヤの祈りに神様は答えられました。
    - ➔ 貴方は誰により頼んでいますか。
    - ➔ エリヤの祈りから学びましょう。エリヤはどのような信仰をもって祈ったのでしょうか。
- 神様を心から礼拝する為に「主が神であれば、それに従い、もし、バアルが神であればそれに従え。」エリヤはイスラエルから偶像礼拝の預言者全てを取り除きました。
- ➔ 神様以外により頼んでいる偶像はありますか？
  - ➔ 100パーセント主により頼んだ人生を歩むためには、偶像はどうしなければならぬのでしょうか。